

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	なごみ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成 23 年 12 月 19 日

総 評	<p>なごみ保育園は、木津川市梅見台の閑静な新興住宅街に位置し、児童クラブを併設した開園 2 年目の保育園です。法人本部は奈良県にあり、当初は定員 150 名で開設し、2 年目には 120 名を増員、現在は定員 270 名となっています。この急激な定員増に対応できるのも、奈良県において 40 年を超える保育実践の蓄積であり、管理者・職員の保育に対する熱意と地域と歩む姿勢の表れです。</p> <p>玄関の自動ドアから園舎内に入るとエントランスホールが広がり子どもたちが伸び伸びと過ごすことのできる空間であり、保護者・地域のコミュニティの場となっています。施設内は採光・通風に優れ、調理室は一面ガラス張りとなっていて、常に清潔に保たれ子どもたちが調理場面を見る事ができます。2 階には畑が設置され野菜の成長が保育室から観察でき、土と触れ合うことのできる場となっています。</p> <p>園名は、一般公募によるものであり、法人の理念である「地域と歩む 世代を超えた子育て一知恵・文化の伝承」のもと、さらに地域への貢献を目指しています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・「大切にしたい子どもたちの育ち」をテーマに「思いやり・しっかり考える・愛情と温もり・心と体・自分でできる・命の大切さ」の 6 つの視点に基づき保育課程が編成され、年間指導計画、短期指導計画に反映しています。 ・地域の実態や保護者からのアンケート結果を十分考慮した保育が実践され、評価・見直しを行い、保育の質の向上に向けた取り組みが行われています。 ・毎日、朝礼を行い、子どもの様子、伝達事項、病気や怪我等の情報交換をし、職員が共通の認識を持って保育が実施されています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価において明確にされた課題について、組織として、課題改善に向けた計画を策定し、評価・見直しをされるとなお良いでしょう。 ・食中毒発生時における対応マニュアルは調理場内に加えて、園全体の対応マニュアルを整備されるとなお良いでしょう。 ・事故防止チェックリストやヒヤリハット事例の活用など、事故防止対策について周知する取り組みをされるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	なごみ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成23年12月19日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	B	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	B	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	C	B
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

「自由記述欄」

・入園のしおりや、職員用のアクトブックに六つの保育の視点がわかりやすく明記され、法人が目指す方針がはっきりと伝えられています。また、地域の中で育つ子どものイメージをしっかりと捉えて保育目標が作成されています。

・保育理念と保育方針に基づき、保護者アンケートや地域の実態を考慮して保育課程が編成されています。また、保護者へのアンケートを積極的に行い、園だよりでフィードバックされると共に、年間指導計画や短期指導計画にも反映されています。開園2年目で現在は管理者が保育課程等を編成・作成していますが、今後は組織的に保育計画等を作成すると共に、利用者への説明も含めて検討されることが望ましいでしょう。

・管理者としての役割と責任を明確にされており、しっかりとしたリーダーシップのもとに、管理者・職員が一体となって保育に取り組んでいます。開園二年目という事情もあり、職員会議などでは管理者が中心となって運営されていますが、職員一人ひとりの意見を反映することが出来る会議等の運営に取り組まることが望ましいでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	C	B	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	C	B		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	C	B		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	B	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	B	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

・法人の本部は奈良県にあり、木津川市の実情と要望に応え、保育園の設置運営が行われています。管理者は社会福祉事業全体の動向や地域の福祉サービス等を的確に把握されています。地域事情を把握し、法人の理念である「地域と歩む 世代を超えた子育て一智慧・文化の伝承一」のもと保育園を運営しています。

・定期的に職員面談を行い職員の就業状況や意向を把握し、職員が相談しやすい環境作りに取り組まれています。個別に研修計画の評価と見直しも実施されています。保護者アンケートから汲み取った意見も反映されており、しっかりと人事管理の体制が作られています。職員の意見を反映され、園の実情に応じた福利厚生事業を充実することが望まれます。

・近隣の地域住民の意見を積極的に集め、園主催の夏祭りなどの行事を通じて地域に根ざした保育園運営が進められています。一時保育や児童クラブも併設し、小学校との連携が密に行われています。

・実習生及びボランティアの受け入れはありませんが、今後は、実習生受け入れ並びにボランティア受け入れに関する意義、方針を全職員が共有し、それぞれの受け入れマニュアルを策定されることが望ましいでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	B
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	C	B
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

・ プライバシー保護に関する規定を整備し、職員に周知徹底されています。

・ 細やかな保護者アンケートを定期的に行い、園だよりによるフィードバックなど、迅速な対応がなされています。

・ 第三者評価を受診するに当たり、自己評価を行い、保育サービスの質の向上に向けた取り組みが行われています。今後は、定期的に自己評価を行い明確にされた課題について改善を図られるとよいでしょう。

・ 入園面接は、丁寧にアセスメントが行われています。また、毎日の職員朝礼や職員会議において利用者の情報等を職員間で共有し、質の向上に努めています。

・ 保育の開始にあたり、パンフレットや園のしおりに保育サービスや料金等が明記され、説明会を設け利用者に同意を得ています。災害時に活用できるシステムがあり、給食の献立なども毎日更新されています。れんらくノートに加えて、掲示板で流行している病気を知らせたり、見学なども丁寧に行われています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	B	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかがわかるような取り組みがなされている	B	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

[自由記述欄]

- ・子どもの健康管理はケース別の把握を徹底し、日々の健康状態等を職員朝礼において、情報を交換し、共通の認識を持って健康管理に取り組まれています。
- ・アレルギー疾患児への対応には、医師の指示書のもと、給食担当者との連携を図り除去食を提供するなどの取り組みがなされています。
- ・乳児が快適に過ごすことのできる環境がよく整備され、指導計画・個別記録においても配慮・工夫されています。
- ・感染症対応等マニュアルを完備され、職員への周知を徹底し、保護者への情報通知により注意を喚起する取り組みがなされています。
- ・保育活動において、身近な公共施設がない中で、少しでも地域社会とかがわかるよう計画されています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	B
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	B
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	B
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	B	A

[自由記述欄]

- ・年2回個別面談や保護者の要望に応じた面談、保育参観、給食参観を実施しています。今後は、クラス懇談会を実施するなど、保護者同士の共通理解を得るための機会を設けるとなおります。
- ・子どもの発達記録・ケア記録・保育要録等保育に必要な記録が整備され、専門機関との連携に必要な内容となっています。今後は、さらに記録の仕方の統一が図れるよう工夫されるとなおります。
- ・一時保育室が確保され、保護者とのコミュニケーションを十分取り、子どもの状態を把握し、通常保育の子どもたちとの交流を配慮した保育が行われています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B

[自由記述欄]

- ・給食に関しては外部委託しています。衛生管理は委託業者により清潔に保たれています。
- ・食中毒発生時における対応マニュアルは調理場内に加えて、園全体の対応マニュアルを整備されるとなおります。
- ・事故防止チェックリストやヒヤリハット事例の活用など、事故防止対策について周知する取り組みをされるとなおります。
- ・現在作成中の事故・災害発生時対応マニュアル及び不審者侵入時対応マニュアルに基づき職員研修が行われることが望まれます。
- ・不審者侵入の対応は、防犯カメラの設置、玄関ドアの自動開閉管理によりなされています。